

新型車両「2000型」 2011年早春 デビュー

シーサイドラインに新型車両を導入します

シーサイドラインを運営する横浜新都市交通株式会社(代表取締役社長 太田 浩雄)では、このたび新型車両「2000型」を製作し、2011年(平成23年)2月下旬(予定)より1編成5両が営業運転を開始します。

この新造車両は、従来の1000型車両の老朽化に伴い、2015年(平成27年)までの間に全16編成80両を順次製造するもので、シーサイドラインでは平成元年の開業以降はじめての車両更新となります。

車両の仕様を検討するにあたっては、保守性や製作コストを考慮しつつ、社外専門家の意見を参考にするなど、細部にわたって従来車両からの見直しを図りました。

車両デザインは、先頭形状をシンプルな傾斜した平面構造とし、シーサイドラインの沿線環境にある「海」をイメージした、7色を用いた幾何学模様の配色としました。



新型車両「2000型」イメージ

【2000型車両の主な特徴】

車両デザイン

- ・地元の有識者や沿線の方々に参加して頂いた「金沢シーサイドラインカラーデザイン懇談会」でデザインを決定しました。
(デザイナー：菊竹 雪〔多摩美術大学客員教授〕)

デザインイメージは、シーサイドラインの沿線環境にある「海」として、波や水面の光を受けたきらめきや、船の帆や旗がはためき軽やかで華やかな躍動感を、7色のカラーを用いて三角形の幾何学模様で表現しました。

車体

- ・ステンレス製の車体を採用しました。

室内

- ・座席配置は既存車両から大幅に見直し、クロスシートとロングシートを組み合わせた配置としました。
- ・客室の窓には遮光性の高いガラスを採用しました。(新設)

セキュリティ

- ・犯罪の予防効果の向上を図るため、各車両内に2台の防犯カメラを設置しました。

(新設)

バリアフリー

- ・車いすスペースを編成5両中3両に設置しました。

サービス

- ・無人運転時は運転席をお客様がご利用できるよう開放しました。(新設)
- ・室内で入り口付近に、液晶ディスプレイ式(LCD)の車内案内表示器を各車両に2台設置し、行き先、次駅案内、他社線の運行情報など様々な情報を表示させます。
(新設)